

項目	内容
名称	ヘラオオバコ、イギリスオオバコ [英]Buckhorn Plantain、 Long Plantain、 English Plantain、 Ribwort [学名]Plantago lanceolata
概要	<p>オオバコは、オオバコ科オオバコ属の植物で、世界各国に広汎に分布している。世界には200種ほどのオオバコがあり、地域によって使用するオオバコの種類は異なるが、いずれも古くから民間薬として利用されてきた経緯がある。この項ではヘラオオバコについて記載する。その他、オオバコ属に関連する情報は (オオバコ属) を参照。ヘラオオバコはヨーロッパ原産の一年草で、葉が細長いへら状であることがその名の由来といわれている。日本のオオバコとは大きく形状が異なり、草丈も大きい。非常に繁殖力が強く、環境省の定める外来要注意生物リストにも収載されている。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・全草にはイリドイド配糖体であるオークビン (aucubin)、フラボノイドであるプラントギニン (plantaginin)、プラントギン (plantagin)、ホモプラントギニン (homoplantagin) のほか、ウルソール酸、ヘントリアコタン、β-シトステロール、スチグマステロール、アスコルビン酸、クエン酸、ビタミンK、β-カロテン、

カルシウムを含む。種子にオークピン、プランテノール酸、プランタサン、アデニン、コリン、コハク酸などを含む。

分析法

・オオバコ属中のイリドイド配糖体をミセル動電クロマトグラフィーにより定量分析した報告がある ([PMID:15018047](https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/15018047/))。

有効性

循環器・
呼吸器

一般情報

・ドイツのコミッションE (薬用植物評価委員会) では、ヘラオオバコ (*P. lanceolata*) の生および乾燥させた地上部について、呼吸器系のカタルと口腔および咽頭粘膜の炎症に対する利用を承認している (58)。一方、これらの有効性についてはさらなる科学的根拠の蓄積が必要であるとの情報もある。

消化系・肝臓

調べた文献の中に見当たらない。

ヒト
糖尿病・
内分泌

調べた文献の中に見当たらない。

での
生殖・泌尿器

調べた文献の中に見当たらない。

の評価
脳・神経・
感覚器

調べた文献の中に見当たらない。

免疫・がん・
炎症

調べた文献の中に見当たらない。

骨・筋肉

調べた文献の中に見当たらない。

発育・成長

調べた文献の中に見当たらない。

肥満

調べた文献の中に見当たらない。

その他

調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (7) 中薬大辞典 小学館
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
- (58) The Complete German Commission E Monographs
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
- (101) Pharmacognosy. 8th ed. Philadelphia, PA: Lea and Fibiger, 1981.
Tyler VE, Brady LR, Robbers JB.
- [\(PMID:15018047\) Z Naturforsch \[C\]. 2004 Jan-Feb;59\(1-2\):27-31.](#)
- [\(PMID:21952153\) Ann Ist Super Sanita. 2011;47\(3\):278-83.](#)
- [\(PMID:22309280\) Cutan Ocul Toxicol. 2012 Mar;31\(1\):58-60.](#)